

創立44年



本町小だより

令和8年度5月号 令和8年5月1日(金)発行

和光市立本町小学校

Tel 466-0855 Fax 466-0894

Email:honcho@wako-city.ed.jp

児童数 315名

薫風にのり、自立の芽を大きく伸ばす

校長 木村 美香

校庭の木々が鮮やかな若葉を広げ、爽やかな風が本町小学校を吹き抜ける季節となりました。新年度のスタートから一ヶ月。新しい環境への緊張感の中にいた子供たちも、今ではすっかり学校生活の主役として、日々生き生きとした姿を見せてくれています。

五月の自然界は、静かな、しかし力強いエネルギーに満ちています。冬の間に蓄えた力を一気に解放するように、植物たちは誰に促されることもなく自ら根を張り、太陽を目指してぐんぐんと枝を伸ばしていきます。一見静かに見える成長の裏側には、土の中の養分を必死に吸い上げ、光を求めて一ミリでも高く背を伸ばそうとする「自発的な命の躍動」があります。

この植物たちの姿は、今年度の本町小学校のキャッチフレーズである「自ら動き、共につくる」を体現しようとする子供たちの姿と重なります。

最近、校内のあちこちで、子供たちの「自ら動く」素敵なエピソードに出会います。

朝、校務員さんのお掃除を手伝っている姿、授業中には「自分はこう思うけれど、みんなはどうか？」と、正解を求めるだけでなく、仲間の考えを引き出そうと対話を始める姿が見られました。休み時間になれば、学年を越えて遊びのルールを自分たちで相談し、全員が楽しめる場を「共に作り出す」場面にも遭遇します。

これらはすべて、大人が指示を出した結果ではありません。子供たちの内側から湧き上がる「より良くしたい」「やってみたい」という瑞々しいエネルギーが形になったものです。

教育において、私たちはつい「目に見える結果」を急いで求めてしまいがちです。しかし、植物がじっくりと根を張る時間が必要なように、子供たちの成長においても、その「試行錯誤のプロセス」こそが何より尊いのです。自ら動こうとすれば、時には失敗したり、壁にぶつかったりすることもあるでしょう。しかし、その経験こそが、将来の変化の激しい社会を生き抜くための「本町プライド」という名の強い根っこになります。

今、本町小学校には、新しい風が吹き始めています。4月の「教えてもらう」段階から、5月は「自ら動き出す」段階へ。子供たち一人ひとりが、自分の色で、自分のスピードで、自立の芽を大きく伸ばしていけるよう、私たち教職員は全力で伴走してまいります。

ご家庭におかれましても、お子様の「小さな自発的な一歩」を見つけられた際は、ぜひそのプロセスを温かく認め、励ましていただければ幸いです。この五月、子供たちが仲間と共に、新しい自分をつくり上げていく姿を、地域・家庭・学校が一体となって見守っていきましょう。